

【年度別優良業者選定に関する補足事項】

1. 年度別優良業者の選定において下記に該当する受注者は選定の対象から除外する。
 - ① 当該年度に指名停止、指名回避の措置を受けている受注者
 - ② 当該年度に施工した工事に関して文書警告を受けた受注者
 - ③ 一括下請、下請代金支払の遅延、特定資材の購入強制等について、関係行政機関からの情報により、下請契約関係が不適切であると認められる受注者
 - ④ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者及びこれに準じる者として、公共工事から排除要請があった受注者
 - ⑤ 年度別優良業者の公表時点において建設業としての経営を行っていない受注者
 - ⑥ その他、年度別優良業者として認めるに不適当な事実があった受注者
なお、年度別優良業者として上下水道局のホームページに掲載中の受注者が上記①～⑥に該当した場合には当該受注者のホームページへの掲載を取りやめるものとする。

2. 年度別優良業者の選定において、既発注工事に伴う関連工事で、既発注工事の受注者と随意契約により締結された工事については、下記のとおり取り扱う。
 - ① 検査の件数としては既発注工事と関連工事を合わせて1件とする
 - ② 年間工事成績の平均点を算出する際には既発注工事、関連工事をそれぞれ1件の工事として扱う

3. 年度別優良業者の選定において、共同企業体により施工された工事については、当該共同企業体を構成するそれぞれの受注者の実績として扱う